



決勝レポート

2026/5/24 Rd-5 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：25℃ 出走台数：24 台

観客数：22 日(金)4,000 人、23 日(土)13,000 人、24 日(日)16,000 人 合計 33,000 人

午前中に行われた予選に続いて開催された第 5 戦決勝。

天候不安定な中行われた昨日の第 4 戦から一転、気温 25 度路面温度は 40 度を超え、強い南風が吹く中、第 5 戦決勝はスタートした。

3 番グリッドスタートの牧野選手はポジションキープ、太田選手は 3 ポジションアップの 6 位でオープニングラップを周回。その後方では接触車両が発生し破損部品がホームストレート上に散乱したため早くもセーフティカーが導入された。

5 周目に SC が解除されると、牧野選手は 1 コーナーで岩佐選手を捉え 2 位へ。

8 周目にピットウィンドウがオープンになると、チームは牧野選手をピットに呼びタイヤ交換、これでタイヤ交換組の首位走行となる。

太田選手は福住選手、岩佐選手の後ろ 3 番手を走行。40 秒後半から 41 秒前半の好ペースで周回を重ね、レース後半のチャンスをうかがう。

21 周目に岩佐選手がピットインすると、翌周に福住選手と同時に太田選手もピットへ。

太田選手は岩佐選手の前でコースに復帰したが、すでにタイヤに熱の入った岩佐選手を抑えきれない。残り周回数が少なくなる中、太田選手は先行する 2 台のバトルを冷静に見定め、残り 2 周でオーバーテイクシステム(OTS)を使い攻略を試みるが至らず。太田選手 3 位、牧野選手 6 位でレースを終えた。

5：牧野任祐 選手 6 位

予選よりも決勝の方がバランスがきつくて、難しいレースになりました。

スタートもよく、SC 明けで 2 番手まで行くことは出来ました。早目のタイヤ交換でトップを狙いましたが、トップグループよりも 0.5 秒前後ラップタイムに差がある状態での走行では戦略も機能しませんでした。

次戦富士は 3 レース開催です。その前に富士テストがありますから、テストで様々洗い出してシリーズ後半の巻き返しにつなげたいです。

6：太田格之進 選手 3 位

予選のマシントラブルで中団からのスタートとなりましたが、決勝ペースは昨日に引き続き速さがありましたし、激しいバトルの中でも存分に戦えて、チームと一緒に素晴らしい車を作れたことにとても満足しています。

予選でも苦しんだし、優勝には届きませんでした。最低限のポイントも取れ、シリーズ後半に繋がるレースでした。